

日野区域事後評価第2回第三者委員会議事概要

1. 実施日 平成18年6月23日(金) 10:00～13:30

2. 場所 緑資源機構第1・2会議室

3. 出席者

第三者委員	上原 和孝	(社)中国地方総合研究センター常務理事
"	熊谷 宏	東京農業大学教授
"	寺谷 寛	新日本海新聞社取締役中部本社代表
"	永木 正和	筑波大学教授
"	服部 九二雄	鳥取大学教授

(敬称略、五十音順)

委員	農林水産省農村振興局総務課設計技術指導官
"	(独)緑資源機構顧問 ほか

4. 議事の概要

(1) 事後評価結果の説明

区域の「事後評価結果(案)」について事務局より説明

(2) 第三者委員会の意見について

第三者委員会として意見のとりまとめが行われ、以下の意見等が提示された。

区画整理や暗渠排水の整備により、農作業の効率化や作業受委託、作付けの変化などが進み、山間地域という厳しい条件下でありながら、効率的かつ付加価値の高い地域農業への芽生えがみられる。

農業用道路の整備は、農作業の効率化、農作業の受委託の促進だけでなく、農畜産物の多様な販路の拡大、集落間の連携等に大きく寄与するとともに、緊急時のライフラインの確保に役立っている。とくに基幹林道としても重要な役割を果たしている。

新たな農産物の加工・販売への取り組みや道の駅の活動などに女性や高齢者の活躍の場が拡大し、地域の活性化に大いに貢献している。